

1. 環境保全への取り組み 輸送の効率化の推進

- ① モーダルシフト（大型幹線輸送を鉄道や船舶に転換） 環境と経済活動に関する懇談会

鉄道輸送



海上輸送



CO2削減効果・・・年間約53,000t-CO2（鉄道；約49,000t-CO2、海上；約4,000t-CO2）

2003年秋

東京～大阪間の大型幹線輸送をモーダルシフト化

名称：スーパーレールカーゴ（電車型特急コンテナ列車）

一日上下56コンテナ＝年間17,920台を転換 年間約14,000t-CO2削減

国土交通省；幹線物流の環境負荷(CO2)低減に向けた実証実験(幹線TDM)認定

1. 環境保全への取り組み

▪ 環境を意識した輸送の効率化の推進

環境と経済活動に関する懇談会

② ハブセンター（荷物の集約施設）

⇒積載効率向上 ⇒運行効率向上（燃料消費量の削減） ⇒環境負荷低減

直行便体制による
輸送距離・時間の短縮



西日本ハブセンター

兵庫県加西市



中部ハブセンター

愛知県小牧市

③ 佐川流通センター；SRC（物流の合理化）

入荷～各種物流加工～出荷 トータルな物流業務を徹底して合理化

物流の各工程間に発生する輸送をゼロに

⇒ 受注から配達までの時間も短縮



物流過程における環境負荷を削減



大井SRC（品川区八潮）

2. 輸送の効率化～環境ビジネスへの展開

環境と経済活動に関する懇談会

地球温暖化対策推進大綱

新総合物流施策大綱

(国土交通省)

運輸部門では輸送の効率化の推進

・モーダルシフトで運送事業者はコスト削減も可能

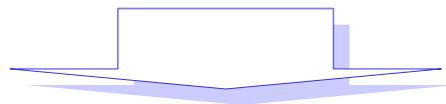
…分割民営化で官民の垣根が取れ、物流3法の一部改正により新幹線貨物輸送開始

新たな環境ビジネスへの展開！



3. 低公害車の導入

京都議定書の日本の削減目標6%に対し、
一民間企業としてどこまでやれるか挑戦。



天然ガス自動車

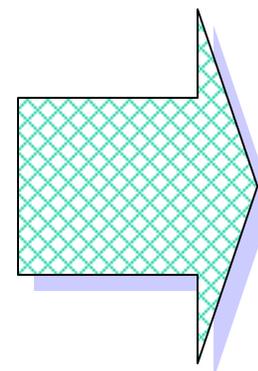
2005年度2,450台 2012年度までの新たな目標の設定

WWFと協働でCO2を削減する
「クライメート・セイバーズ・プログラム」

CO2排出量の第3者検証とベースラインの設定

現在の目標を上回る新たな目標の設定

取り組みと活動の成果の公表



環境と経済の両立



環境配慮活動が
新たな循環ビジネスの発展に



4. 政府に求められる施策

環境と経済活動に関する懇談会

企業の環境配慮活動を後押し

- ・天然ガス自動車普及促進
- ・CNGスタンド設置推進
= 財政支援(助成制度)の
充実・拡大

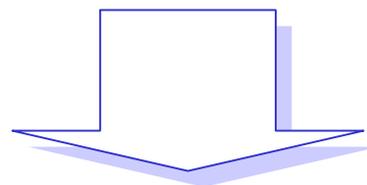
- ・モーダルシフトを考慮した
ダイヤ改正
= 貨物ダイヤの拡大

…新たな環境ビジネスの発展

規制の統一化

自動車NO_x・PM法
↑↓
環境確保条例

…官と官(国と自治体)の連携を



循環型経済社会の確立に向けて物流業界も貢献!